

新座市指定管理者制度導入施設管理状況評価シート（令和7年度分）

【施設の概要】（所管部記入）

施設名	体育施設（総合運動公園ほか10施設）		
所在地	新座市本多二丁目8番16号ほか10か所	所管部署	教育総務部生涯学習スポーツ課
制度導入年度	平成25年度	選定方法	☒ 公募 / ☐ 指名
指定管理者	名称	スポーツにいざコンソーシアム	所在地
	指定期間	令和7年4月1日～令和11年3月31日（5年間）	

【事業概要】（指定管理者記入）

事業概要	今年度より、新座市スポーツ協会（代表団体）とコナミスポーツ株式会社（構成団体）の共同事業体「スポーツにいざコンソーシアム」による運営体制となり、初年度の指定管理者としての業務をスタートさせた。指定管理対象施設11施設の設置目的を達成するため、各施設の利用許可、使用料の徴収および収納、施設の維持管理、また市民の健康増進と体力の向上を図るために必要な事業を新座市体育施設等の管理運営に係る基本協定書等に基づき実施した。 対象施設の利用許可、使用料の徴収及び収納については、市の条例規則等関係法令に基づき適正な利用許可並びに収納事務を行い、令和7年度は全11施設における総利用者数は481,236人となり、施設全体の前年度比が130.6%（令和6年度利用人数368,325人）増となった。これは、新座市民総合体育館で行われた令和7年冬巡業大相撲新座場所開催や昨年度までの大規模修繕期間も終了し、他市施設を利用していた方も、新座市体育施設に戻りつつあると推測する。 自主事業においてはフィットネス教室や高齢者向けの健康教室の他、幼児体操教室等、幼少期から高齢者に至るまで、新たにコナミスポーツのノウハウを取り入れ、前年度は48コース、9,612名の参加に対し令和7年度は48コース、14,372人のご参加をいただいた。この他、市民へのスポーツ振興と健康で文化的な生活と共に公共の福祉の増進に資するために、スポーツ教室等に対して職員派遣を実施した。
特筆事項	※ 運営において創意工夫した点や指定管理者の提案による新たな取組等を記載 令和7年冬巡業新座市制施行55周年記念大相撲新座場所を12月21日（日）に新座市民総合体育館にて開催した。総合体育館で開催されたイベント興行では最多となる3,504名の来場者を記録し、大盛況のうちに終了することができた。また、コナミスポーツとの連携により、トレーニングルームのリニューアルや指導員の常駐化を実現、かつ初回講習を受講することなく随時利用が可能とするなど、利用者サービスの向上に務めた。これにより、前年度18,492名であった利用者が、今年度は23,313名となり、年間で4,800名を超えるトレーニングルーム利用者増を実現し、女性一人での利用も「安心かつ利用しやすくなった」との好評をいただいた。 「SDG's」の取り組みとして、施設内にSDG'sマークを掲示や、プラスチックゴミ削減に向けて海の塗り絵をお子様方から募集し、啓蒙活動を行った。 総合体育館窓口にて室内用シューズのレンタルを始め、当日シューズを忘れた方へ貸し出しも可能となり、利用者増員や利用者サービスへもつながっている。 利用者参加型季節イベント（桜、七夕の短冊制作や塗り絵等）を実施することで、利用者付き添いの子供も楽しむ事ができ、再来館につながる工夫を行った。また、新たにコミュニティーボードを設置することで、サークル活動の会員募集に活用され、体育施設利用の定着化に繋がっている。 総合運動公園では、次年度のねりんピック開催に向けて、市所管課及び加盟団体と協力しながらコースの整備としてショットマット・ゴムマットの設置等を行い、開催準備を進めた。 屋外施設に関しては、利用者や加盟団体と協働して、トイレ清掃、グラウンド整備・草刈り等、日常維持管理を細目を実施する等、コンディションの維持・向上と安全確保に努めた。 各施設の老朽化による故障部分の修繕においても、軽微な破損等については自主修繕・部分修繕で対応した他、指定管理者で限界がある大規模になるものについては市所管課へ報告し、破損内容を共有しながら連携して対応した。 10月には新座市の公共施設予約システムの移行に伴うサポートを行った。同時にキャッシュレス決済を導入したことにより、利便性の向上につながった。

【総合評価】

指定管理者の自己評価

総合評価	S	☐	優良	項目別評価総括が全てA以上であり、Sが二つ以上である。
	A	☒	適正	項目別評価総括が全てA以上である（上記以外）。
	B	☐	課題あり	項目別評価総括にBが含まれている。
評価内容	スポーツにいざコンソーシアムとして初年度の運営となりましたが、市所管課との緊密な連携のもと、各事業を着実に実施することができた。本市のスポーツ団体基幹組織である新座市スポーツ協会（代表団体）と、業界最大手のコナミスポーツ株式会社（構成団体）によるコンソーシアムの組成により、従来の地域特性を踏まえた管理運営を継続しつつ、全国220以上の公共施設で培われた管理運営ノウハウを融合させ、業務の質を向上させることができた。特に利用者サービスの面においては、視認性の高い施設内POPの設置や利用者増への仕掛けなど、初年度から具体的な効果を発揮することができた。また、要望の多かったトレーニング室へのスタッフ常駐化を実現し、充実したトレーニング環境を整備した結果、利用者数が前年度比4,821人増となる大きな成果へつながりました。安全管理や利用者対応についても、全国の優良事例をこれまでの施設運営経験に反映させることで、誰もが公平・平等に、かつ安心して利用できる環境のさらなる充実に努めることができた。 個人情報保護法、スポーツ振興法、消防法などの関係法令を遵守するとともに、市との間で締結した指定管理基本協定等の内容を熟知し、定められた業務範囲、サービス水準、報告義務など、当協会が代表団体として確実に履行した。また、利用者の安全を確保するため、施設や設備の日常点検・定期点検を徹底し、被害を最小限に抑えるための予防に努めた。 利用者サービスの向上については、最新のニーズを把握するため、各施設にアンケートボックスや意見箱を設置した。電話やメール等でいただいた多くのご意見にも真摯に耳を傾け、施設管理運営に積極的に反映させることができた。 効率的な施設運営については、利用状況や業務量に応じた適切な人員配置を行いました。また、光熱費や修繕費等の削減においては、利用者サービスの低下につながるような過度の削減を避けつつ、適切な管理を行うことができた。 【大相撲新座場所】 本指定管理施設である総合体育館において、本市初となる大相撲巡業「新座市制施行55周年記念大相撲新座場所」を令和7年12月21日に開催し成功裏に終えることができた。 本事業は、新座市、新座市教育委員会共催、また多くの関係各機関との連携により開催し、3,500人を超える多くの方々が総合体育館に来場した。まさに、当該施設の活用はもちろんのこと、地域連携、市のシティープロモーション、そして市民が元気で楽しめる企画など、まさに指定管理者の運営としたサービス提供、地域活性といった本コンソーシアムとしても体现できたと考える。 大相撲新座場所では多くの方に新座市、そして市民総合体育館を知って頂く契機となった。この経験を活かし、更に魅力ある施設運営を目指していきたい。			
改善策				

市の評価

総合評価	S	☐	優良	項目別評価総括が全てA以上であり、Sが二つ以上である。
	A	☒	適正	項目別評価総括が全てA以上である（上記以外）。
	B	☐	課題あり	項目別評価総括にBが含まれている。
評価内容	令和7年度は（公財）新座市スポーツ協会とコナミスポーツクラブ株式の共同事業体である「スポーツにいざコンソーシアム（SNC）」が新座市体育施設等の指定管理業務を行った初年度であったが、長年、本市のスポーツ事業・施設管理を行っている新座市スポーツ協会と多くの公共施設における管理ノウハウやスポーツ教室等の企画・運営実績を持っているコナミスポーツの両者の利点を融合させ、トレーニングルームのリニューアルを始め、シューズレンタル、利用者に付き添う子供も楽しめるようなイベントを実施するなどきめ細かな試みを実施することで、施設利用者数や教室参加者数の増加、利用者満足度の向上を図ることができていると考える。 また、新座市制施行55周年記念事業「大相撲新座場所」では、3,500名を超える多くの方々に来場いただき、大きな事故等もなく無事開催されたことは大いに評価できる。同事業は市民だけではなく近隣市町村からも多数の来場があり、新座市及び市民総合体育館の知名度向上に寄与するとともにシティプロモーションの観点からも大変評価できる。また、来場者からは定期的に開催してほしいとの声も寄せられており好評な事業であったと考える。今後も引き続き市と連携しながら本市のスポーツ振興施策をさらに推進するとともに、スポーツ施設の安全かつ円滑な運営管理に努めていきたい。			

【市の評価を受けた今後の取組や改善策等】（指定管理者記入）

この度の評価を受け、今後の取り組みについて、次の通り務めて参りたい。

スポーツにいざコンソーシアムとして施設管理を行ったことで、昨年度以上の運営実績と利用者満足度の向上に対し評価をいただいた。引き続きトレーニングルームの常駐化やシューズのレンタル、利用者付き添いの子どもも楽しめる季節イベント等の利用サービス実施は継続していく。令和8年度は、事業計画でも提案した「新座市への転入者」及び「子どもを出産された方」を対象にした利用サービス企画や、手軽に運動を始める一番最初のステップとして、さらに利用しやすいトレーニング室の環境づくり、貸し出し用具の充実による運動初心者へのアプローチを強化していきたい。

近年の異常気象による大型台風や集中豪雨などの風水害対策や、落雷・熱中症対策など、施設利用者の安全管理も怠ることなく注視していく。体育館施設の空調設置に伴う利用者からのご意見に対しても、「熱中症予防のための運動指針」等に準じた施設基準をもとに、丁寧かつ公平に説明するよう務めてまいりたい。同様に新予約システム導入による入力の手順やキャッシュレス決済方法が不慣れな方へも丁寧にサポートし、利便性の向上に務めていく。

ご指摘いただいた施設の老朽化に対する対応についても、優先順位を明確にし、安全かつ無駄の無いように対応して参りたい。

また、施設修繕料・機械器具修繕料・備品購入費については、修繕計画のとおり、担当間共有のもと、早い段階で優先順位が高いものから不足なく消化するよう努めていく。

今後の仕かけとして、大相撲新座場所を成功させた経験から、新たなイベントの企画等、利用者へサービスの提供を常に心がけていきたい。今年11月には全国健康福祉祭「ねんりんピック彩の国さいたま2026」が開催されるので、他県へ向けたシティープロモーションも含め、市と連携しながら成功に寄与できるよう取り組んで参りたい。

【過年度の評価結果まとめ】（所管部記入）

評価区分	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)	10年度 (4年目)	11年度 (5年目)
指定管理者の自己評価	A				
市の評価	A				